

「会員増強3本柱を推進」

東日本区ワイズの会員数の減少を顧みるに、このままでは10年後の組織の存続の危機さえ叫ばれ始めている現状を打開すべく、昨年11月の東日本区役員会において2022年のワイズ100年を目標に区を挙げての会員増強運動を(仮称)会員増強推進委員会を中心にして展開することが承認されました。現在2019年7月のスタートを目指して準備を進めています。私の方針も同委員会で現在討議されている項目を中心に作成いたしました。(私個人の意見ではありません)

1. 5人以上で新クラブ結成の奨励

趣味の会、同期の会、友人知人の集まり、社会と繋がりを持ちたい方等、対象は多種多様。

2. フェイスブック等 SNS を全クラブ作成し、各クラブの活動を外側に発信

実名の「フェイスブック」を各61クラブで作成し、相互リンクを行います。

トップページは東日本区HPに相互リンク、強力な外部への情報発信網とします。

内向きのY'sから外向けのワイズへと変革し情報発信を行い会員増強に繋がります。

3. 外部から見た「宗教色を下げる」、多様化したクラブの設立、変更を奨励

既存クラブでは各種儀式を行うクラブが見受けられますが、これらをあまり強調しなくても良い宗教色を下げた「富士山部」のような新クラブの設立や既存クラブのプログラム見直しの検討も奨励します。

基本方針として国際の憲法を遵守「YMCAを支援する」とし、細かい部分は各部、各クラブ、各新クラブの裁量に委ね、区大会、部会、例会、委員会等のプログラムもそれに準じます。外部の方からの違和感を下げて新会員募集や卓話者を呼びやすくします。(現状でも既にそうなっているクラブも多数ありますが改めて記載)

「留意点」

- ・スポンサークラブは、通常はクラブが行いますが、多様化することを想定し、SNSなどで募集した場合や、何らかの事情がある場合は、「部」がスポンサーとなることも可能です。
- ・「フェイスブック」初期作成費は東日本区で負担しますが、トップページの写真、各ページに該当する写真数枚、その説明文章は各クラブから各部長又は各部EMC事業主査が収集し、その後、**各月末までにメールで榎本委員 ascot@purple.plala.or.jp** までご提出願います。作成は先着順に渡辺大輔委員が行います。その後の管理、保守、更新、初期広告各クラブで行うか、有料で業者に依頼も検討します。相互リンクは各クラブから各自治体などにもお願いしてください。**SNSは自クラブで作成するのがベスト**です。
- ・外部の人から見た違和感を下げ「YMCAを支援する」クラブの設立を促進し、「一般の方」も募集、日本の多様化した状況に合わせ、会員増強に繋がります。
- ・東日本区の現会員増強委員会関係者は私を含めて2022年まで、新会員増強のスタッフとして留まり強力に皆様を支援させていただきます。ご質問があれば **fudano@xbb.jp** 札埜まで。